

令和7年産

大崎稲作情報 第3号

令和7年6月23日発行

宮城県米づくり推進大崎地方本部

大崎農業改良普及センター

TEL : 0229-91-0726 FAX : 0229-23-0910

<https://www.pref.miyagi.jp/site/osnokai/>

今後の管理のポイント

- ✓ 目標茎数に達したほ場もありますが、生育の遅れているほ場もあります。各ほ場で茎数を確認の上、中干し時期を決定しましょう。
- ✓ いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。
- ✓ 本田および畦畔の雑草管理を徹底し、斑点米カメムシ類を抑えましょう。

1 気象経過（前5か年間平均値との比較）

6月第2半旬・第4半旬の気温は高く、日照時間も長くなりました。降雨は6月15日以降ありませんでした。

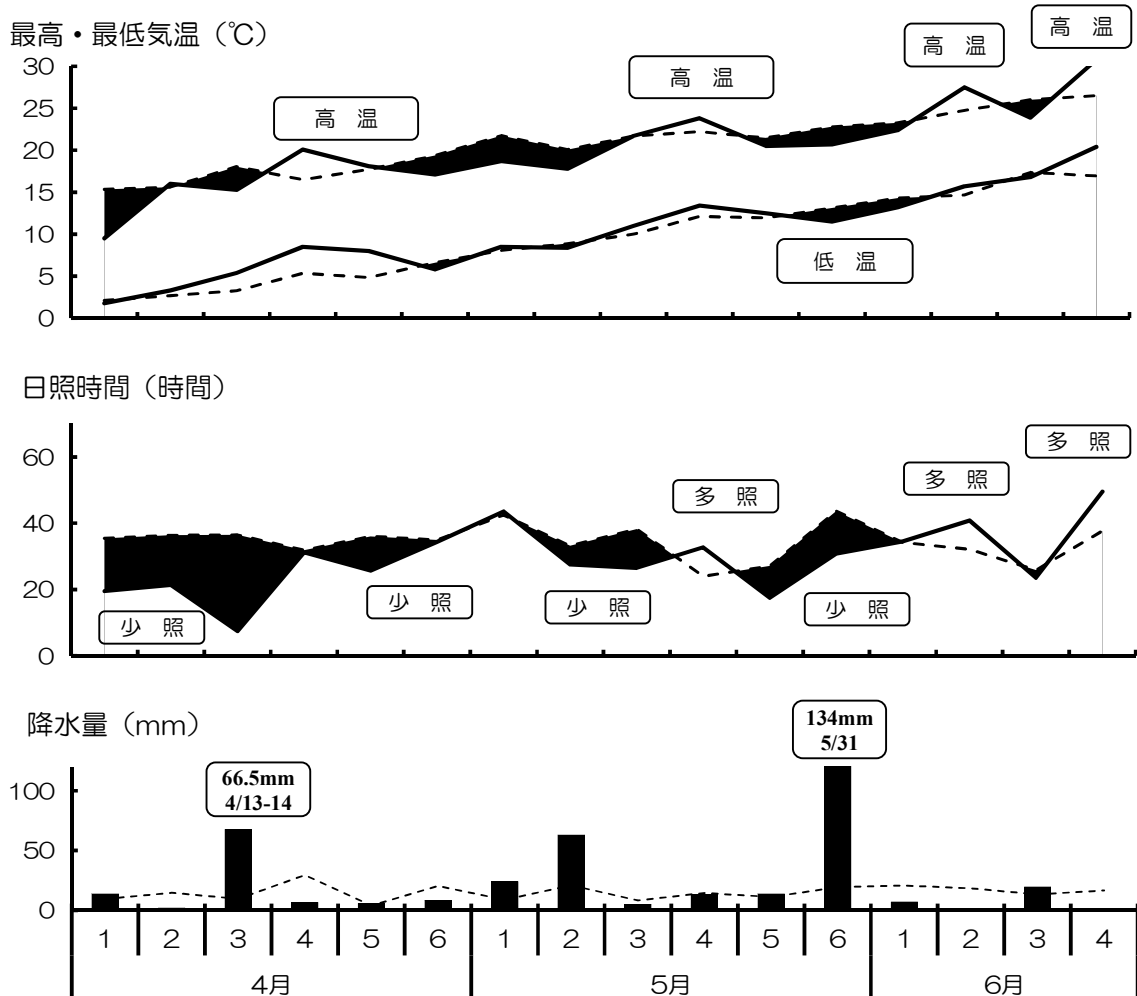


図1 4月～6月第4半旬の気象（古川アメダス）※前5か年平均値との比較

2 生育概況（6月20日現在）

6月第2半旬以降は概ね高温多照で経過したことから、いずれのほ場とも茎数は前回調査と比べて大きく増加しています（移植ほ場の茎数平均の平年比は前回 85%、今回 96%）。草丈及

び葉色の平均も平年を上回り、生育量は平年比 111%です。5 月上旬田植えでは既に目標茎数に達したほ場もあります。一方、晩期移植のほ場の一部では、茎数が平年値を下回っています。

表 1 生育調査結果

栽培様式	品種名	地区名	前作	田植日 播種日	6月20日				
					茎数 本/㎡ (平年比)	草丈 cm (平年比)	葉色 GM (平年差)	生育量 茎数×草丈×葉色 (平年差)	正規化 植生指数 NDVI
移植	ひとめぼれ	大崎市三本木	水稻	5月5日 (+1)	546 (114%)	42.8 (104%)	48.4 (+4.4)	11.3 (126%)	0.53 -
		加美町小野田	水稻	5月21日 (+4)	183 (63%)	34.2 (98%)	41.0 (-2.0)	2.6 (64%)	0.42 -
	ササニシキ	大崎市古川	水稻	5月6日 (-2)	389 (110%)	40.2 (112%)	46.0 (+3.0)	7.2 (144%)	0.44 -
	平均			5月10日 (+1)	372 (96%)	39.1 (105%)	45.1 (+1.8)	7.0 (111%)	0.46 -
乾田直播	ササニシキ	大崎市古川	大豆	4月28日	191	22.2	29.7	1.3	0.35
		大崎市三本木	大豆	4月10日	321	28.9	39.8	3.7	-
			水稻(乾直)	4月10日	238	31.8	41.9	3.2	-
	ふくひびき	色麻町下高城	大豆	4月22日	330	39.0	36.9	4.8	0.35

※田植日の+は遅いことを、-は早いことを示す。乾田直播はいずれもグレーンドリル鎮圧方式による。

※平年比・差は前5か年(令和2～6年)の平均値との比較。

※生育量は茎数/㎡×草丈 cm×GM 値÷10 万で求める指標で追肥判断等の目安となる(詳細は次号)。

※正規化植生指数は、ほ場管理者が契約する BASF 社ザルビオ®・フィールドマネージャーによる。

3 今後の管理

1) 水管理 中干しは生育状況(茎数)を確認し、有効茎数に達したら行う

●中干し

中干しは、有効茎数(表2参照)に達したら行いますが、地域や移植時期で生育差が大きいため、茎数をほ場で確認の上、実施時期を決定しましょう。早すぎる場合は茎数・穂数不足となります。また、生育が平年並みのほ場では、中干しが遅れ、分けつ数(穂数)が過剰になると、籾へ十分に栄養が行きわたらず、白未熟粒の発生といった品質低下を招く原因となります。

＜中干しの主な効果＞

▶無効分けつの抑制

稲の窒素吸収が制限され、無効分けつの発生を抑えます。

▶耐倒伏性の向上

土壌を締め、下位節間の伸長が抑えられることで倒伏しにくくなります。

▶根の活力向上

土壌中に酸素を供給することで根腐れの原因となる有害物質を抑制し、根の活力を高めます。

●走り水

中干し終了後は走り水で飽水管理を行い、徐々に間断かん水に切り替えることで、根の活力維持に努めましょう(急に湛水状態にすると土壌の還元が進み、根が傷みます)。

＜目標茎数(＝穂数)の目安＞

ひとめぼれ 410本～460本/㎡
ササニシキ 480本～510本/㎡
だて正夢 360本～400本/㎡
つや姫 400本～440本/㎡

表2 1株当たりの有効茎数(本/株)の目安

		田植え時の設定株数(株/坪)		
		50	60	70
有効茎数 (本/㎡)	400	26	22	19
	450	30	25	21
	500	33	28	24

上表の「1株当たりの有効茎数」は、「有効茎数(本/㎡)÷田植え時の設定株数(株/坪)÷3.3」により算出。

＜グレーンドリル鎮圧方式乾田直播の場合＞

ササニシキ 420本～460本/㎡
(7/15茎数 590本～640本/㎡)
※普及に移す技術第99号参考資料より

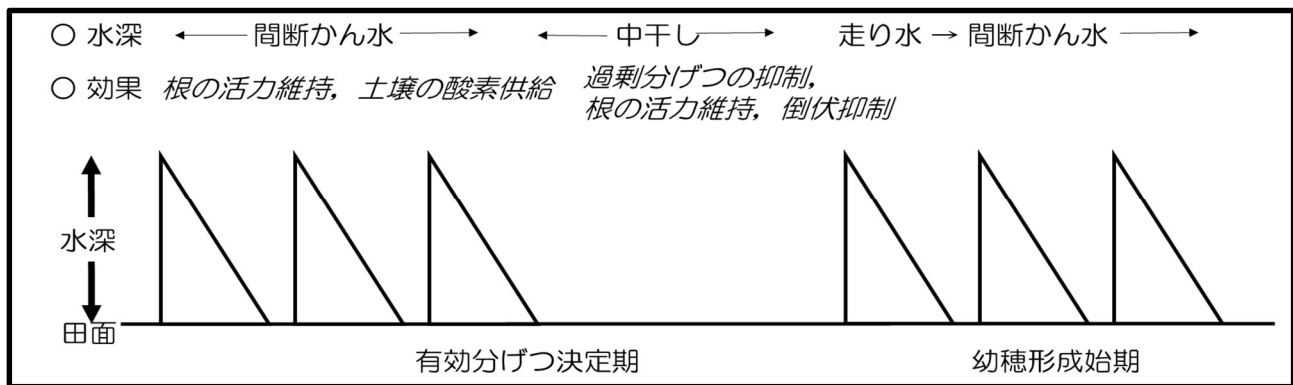


図2 今後の水管理

2) 病虫害防除

●いもち病

- ▶ いもち病は、葉では円形～楕円形で灰緑色、水浸状の病斑を生じた後に、ひし形で中央部灰白色等の病斑が生じます。
- ▶ 近年は、いもち病による目立った被害は少なくなっていますが、湿度の高い曇雨天が続くことで発生しやすい条件となります。
- ▶ ほ場を観察し、いもち病の早期発見・早期防除に努めましょう。本田で確認された場合は直ちに茎葉散布剤を散布しましょう。
- ▶ 乾田直播栽培等で防除未実施の場合は、早めに本田防除を行いましょう。
- ▶ 古川アメダスのデータを基にした解析では 6 月 11 日に葉いもちの感染好適日がありました。感染好適日は宮城県病虫害防除所のHPで確認できますので、予防防除の検討の際の参考にしてください。
<<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/byogai/blastam.html>>



葉いもちの病斑

●斑点米カメムシ類（雑草防除）

- ▶ 斑点米カメムシ類の発生を抑えるために畦畔の草刈りや水田の雑草防除を行いましょう。
 - ▶ 畦畔・牧草地などの草刈りは、水稻出穂期 10 日前までに行いましょう。
 - ▶ アカスジカスミカメは、イヌホタルイやノビエを利用して水田内で繁殖します。イヌホタルイやノビエが残草している水田では、雑草防除を徹底しまししょう。
- ※宮城県で発生する斑点米カメムシ類の最重要種はアカスジカスミカメですが、県内でクモヘリカメムシ、全国的にはイネカメムシといった大型のカメムシ類の被害も増加しています。見慣れないカメムシ類のほ場侵入がみられた場合には、JA 営農センターや当普及センターに御相談ください。



アカスジカスミカメ（成虫）

●紋枯病

- ▶ 紋枯病は、葉や葉鞘にて周縁部が緑褐色や褐色、内部は灰緑色や灰白色の楕円形の大きな病斑が生じます。
- ▶ 紋枯病は、前年の病斑上に形成された菌核がほ場に残り、翌年の伝染源となる土壌伝染性の病害です。
- ▶ 前年発生した水田では、穂ばらみ期に水面施用剤の施用、もしくは穂ばらみ期から出穂期の茎葉散布剤の施用を検討しまししょう。
- ▶ 特に、気温が 22～23℃を超え、株間湿度が高くなると発生しやすくなります。



紋枯病

令和7年6月19日 仙台管区気象台 発表※抜粋

- ・ 暖かい空気に覆われやすいため、向こう1か月の気温は高いでしょう。期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。
- ・ 太平洋高気圧に覆われやすいため、向こう1か月の日照時間は平年並か多いでしょう。

平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。

		低い(少ない)	平年並	高い(多い)
【気 温】	東北地方	10	10	80
【降 水 量】	東北地方	30	40	30
【日照時間】	東北地方	20	40	40

		低い	平年並	高い
1 週 目	東北地方	10	10	80
2 週 目	東北地方	10	20	70
3～4週目	東北地方	10	30	60

